

# 一般社団法人 松の会活動について



撮影：山口 直也（山中湖にて）

東遊の數々に  
その名も月入る  
色人ハ  
三玉夜中  
の  
松の会

檜書店「謡本羽衣」より



# MATSU NO KAI

## 各学校での活動実績(一部感想抜粋)

### 実施校の感想(教職員)

- ・普段の学校生活では経験することのできない、日本ならではの文化に触れることのできるとても貴重な経験になりました。生徒たちも今後の社会を担う存在として、日本人としての誇りを持つきっかけとなりました。
- ・貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。異文化コミュニケーションを教える立場として、もっともっと日本文化を学ぶ必要があると痛感しました。
- ・「能は見ている人にエネルギーを与える」ということをおっしゃっていましたが、まさにエネルギーをたくさんいただくことができました。皆さんで呼吸を合わせている様子や実際の太鼓の音や謡の声は自分の体に直接響いているようでした。
- ・世の中全体がSDGsを意識し未来について考え、行動する流れがある。未来について考えることの重要性はいうまでもない。それ以上に、日本の伝統として古くから残っている物事について、「なぜ、古くから脈々と現代に受け継がれたのか」を考え、感じることで「どのように残してきたか」がわかり、「過去から学び、現在と未来へ繋げる」ことが大切だと感じました。

### 実施校の感想(生徒)

- ・本物の【能】を間近で見て、音楽の授業で見た映像より遥かに迫力を感じました。生で聞く囃子方の人たちが奏でる伝統的な道具の音、地謡の人たちの太く重みのある声、主役である仕手が出す、床を通して体に伝わる振動。「本物はやっぱり違うな」と心の底から思いました。(中学生)
- ・僕も見るまで能などの伝統芸能に対してあまり興味を持っていませんでした。ですが、今回の体験を通して興味を抱くだけでなく、これらを受け継いでいくために僕達のような学生、若い人たちが能を深く知って後世に伝えていくことが大切になっていくのだと感じました。(中学生)
- ・人生で能楽を初めて体験し、心に残ったことはたくさんありますが特に能を間近で見たときにはシテの方の声が事前に鑑賞していた映像の何倍もの迫力と響きがあり、地謡の方や囃子方の細かな動きまで、生で見ないとわからない魅力がたくさんありました。(中学生)
- ・「能」という日本独自の文化に触れて、次の世代を担う僕たちが、このような素晴らしい日本の文化を守っていくためにはどうすればいいのか、ということを考えるきっかけにもなりました。(中学生)
- ・日本の文化に触れるという貴重な経験になったし、日本の伝統を守っていくにはどうすべきかということを考えるきっかけにもなりました。(中学生)
- ・能の事を色々教えてくださってありがとうございました。目の前で能を観たり、道具に触れたりすることはめったにできないことだと思うので、このような体験をさせてくださって本当にありがとうございました。(小学生)
- ・私はあんまり能のことを知らなかったけど、鼓や能面のことを詳しく教えてくれたからすごい興味が出て、家で色々な事を調べました。いつか実際に舞台上で能を観たいと思いました。(小学生)

### これまでの能楽体験教室を経て…

これまで115校にて能楽体験教室を行って参りました。どの学校でも生徒さんたちは、目を輝かせて体験しており、日本人なのに、日本人としての文化に触れること自体に新鮮さを感じているように見受けました。私自身、「能」を通し、次世代を担う若者に「能は楽しい、面白いからという理由で続いてきたのではなく、人々の幸せを願う、そんな思いで伝統をずっと受け継いできた」という事を伝えてきました。SDGsなど、未来を創造するためには、これまでの賢人たちの知恵や文化、伝統こそ必要なことと考えます。お忙しい中とは存じますが、是非ご検討のほどよろしくお願い致します。

重要無形文化財総合指定保持者  
観世流能楽師

松本 千俊

お問合せ



事務担当 佐藤 祐美子 080-2555-0626

E-mail [matsunokai@gmail.com](mailto:matsunokai@gmail.com)

HP <http://matsunokai.com>





# 各学校における普及活動

【一般社団法人松の会 学校能楽教室活動方針】

## 約650年続く「世界最古の舞台芸術」である能楽の普及・伝承

「能楽」は日本を代表する古典芸術であり、ユネスコ無形遺産に認定されるなど、世界的にも高い評価を得ています。松の会では能楽の体験を通して日本文化のすばらしさや固有の美意識を理解し、興味関心を高めてもらうことを目的として各地で積極的に能楽教室を実施しています。

この能楽教室の体験をきっかけに、子どもたちが日本の文学・音楽・歴史に幅広い興味関心を得て、日本文化への理解や魅力の発見をすることで、国際社会の中における自己の確立や、人生において「生きる力」を身に付ける一助となるべく活動を続けています。

### ①活動実績

平成28年から、東京都・長野県・千葉県などの小学校・中学校を中心に、幼稚園からインターナショナルスクール等で能楽教室を実施しています。

#### 幼稚園での能楽教室



#### 小学校での能楽教室



#### 中学校での能楽教室



### ②能楽教室詳細

能楽教室では、能楽の歴史や解説・謡(うたい)や面(おもて)などの体験活動を中心に行っています。※講座時間・参加人数に応じて内容など要相談

講座時間: ~100分(休憩含む)

参加人数:1講座 約100名

教材:能のいろは等配付

※一部各100円(定価 500円)



【講座内容】 ※要相談(下記は一例)

(1) パワーポイントによる解説 ※一部抜粋



(2) 各種体験活動

能面・小鼓・太鼓・謡、仕舞のグループに分かれ、ローテーションにて実施

【能面体験】

【小鼓体験】

【謡体験】



(3) 仕舞の実演(例「船弁慶」・「羽衣」等) または 能装束(衣装)の着附と能の一部実演

(例「敦盛」「羽衣」等) ※実演の内容は要相談



(4) 質疑応答

※能楽教室の参加人数や場所・内容などは事前打ち合わせにて決定させていただきます。